

進路だより

第2号
平成28年7月11日発行
淀川中学校進路担当

理想と現実、大きな違い！

6月10日の第1回実力テストと、6月27日から3日間行われた期末テスト、その結果に驚いている人も多いのではないのでしょうか。そこで、中間テストも併せて平均点を見てみましょう。

【3年生（56期生）の一学期テスト結果】

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
実力	42.9	39.5	48.4	34.7	56.0	221
中間	54.3	47.4	51.5	54.5	48.7	257
期末	58.1	53.0	61.6	55.1	52.2	283

3年生になって頑張っている人も多いと思いますが、現実には、その力が十分発揮されているとは言えないのではないのでしょうか。テスト範囲が3年生になってから授業のみの定期テストと、1年からのすべてが範囲となっている実力テストでは、難度がまったく違うと言っていいでしょう。これからは、3年の内容はもちろん、1、2年の内容の復習も必要となってきます。その場しのぎの勉強でなく、長期の計画を立てて学習してください。

また、気になったのが、途中であきらめているのではないかという人が見られたことです。今からこのような姿勢が身に付いてしまうと、これからの人生で常に物事から逃げることになってしまいます。中学校卒業時の進路選択は人生最初の試練と言っていいでしょう。後々「あのとき、もっと頑張っておけば良かった」と思うことがないようにしてください。なお、夏休み明けの9月20日（火）に第2回の実力テストがあります。高校選択の資料となるので、今まで以上に対策を立てて試験に臨んでください。

学期末懇談で自分を見つめ直そう!! 進路のことも考えましょう。

7月12日から学期末懇談が行われます。1、2年のときは、1学期の授業中の様子を中心に懇談をしましたが、今回は進路のことが話題の中心になることでしょう。しかし、実際は、「どこの高校に行きたいか、まだ考えていない」とか、「どんな学校があるかわからない」という人が多いのも、また事実です。また、保護者の方からは、「奨学金のことを教えてほしい」という質問が毎年のように出てきます。これらの事柄については、進路説明会で配布した進路の手引を参考にして、夏休み中に検討していただきたいと思います。

また、懇談で出た個々の課題を忘れずに夏休みを有意義に過ごしてください。

夏休みの間に確認してほしいこと

1. 進路の選択

- 進学
- ・高等学校か、それ以外（専門学校、専修学校）か。
 - ・公立か、私立か。専願か、併願か。
 - ・学科、コースはどうするか。

- 就職
- ・学校紹介（ハローワーク経由）か、縁故就職か。
→ハローワーク紹介ならば、2学期末に職業適性検査、および職業相談がある。
 - ・就職したうえで、進学（定時制、通信制）するかどうか。

2. これからの心がけ

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ①毎日の授業を大切にする。 | ②精神的に強くなる。(いらいらしない) |
| ③家で学習する時間を持つ。 | ④高校の体験入学、学校説明会に参加する。 |
| ⑤中学校からの情報を確認する。 | ⑥噂に惑わされない。 |
| ⑦自分の行動に責任を持つ。 | |

3. 志望先決定についての注意点

進学希望者	就職希望者
①目標を持って、自分に合う学校を選ぶ。 ②学校を見る。特に私立校の場合、校風、伝統を知る。 ③公立志望者も、私立の併願校を検討する。 ④先生と相談し、助言を参考にする。 ⑤高校卒業後のことを考えて、学科、コースを判断する。(専門学科は多種多様。)	①就職難。 (中卒の求人件数は特に少ない。) ②知名度でなく、仕事の内容で考える。 ③初任給の多少に惑わされない。 ④働きながら学ぶことも考える。 →定時制、通信制進学も考える。

高校に行こう!!

5月末から高校の体験入学や学校説明会が始まっています。自分が興味を持った学校があれば、一度足を運んでみましょう。教室や階段に案内やポスターを掲示するので、行きたい学校があれば、締切日までに部奈先生に申し出てください。

高校に行くことによって知ることができるのは…

- ①授業内容 学校、学科、コースによって授業内容は様々。最初は興味が無くても、授業を受けて興味がわき、進学先を決めた卒業生もいます。
 - ②部活動 誰もが知っている部から初めて知る部まで。いろいろな部活動があります。中学時代からは想像できない部活動に入部することになるかも知れません。
 - ③設備 中学校とは比べものにならないのがこれ。高校によって力を入れている分野がわかります。
 - ④雰囲気 一番大事なものはこれかも知れません。充実した高校生活が送れるか。よく見極めましょう。
- などなど。ここにあげたのはほんの一例に過ぎません。たくさんの学校に足を運んで自分の進学先を考えましょう。

公立高校入試の倍率、アドミッションポリシー発表!

平成29年度入試における各校の学力検査と評定の倍率の選択状況とアドミッションポリシーが発表されました。その量は膨大なので、ここには掲載できませんが、府教育委員会のホームページで確認することができます。公立校の体験入学の日程なども掲載されているので、一度読んでみてください。

大阪府公立高校入試 アドミッションポリシー で [検索](#)

夏休みの過ごし方を考えよう!

約35日にわたる夏休み。毎年のように受験生には、「夏を制するものが受験を制す」という言葉が耳に入ってきます。多くの方は、夏休みの大半を中学生生活最後の部活に頑張ることでしょう。生活面を考えると、積極的に部活に参加し、完全燃焼してほしいと思います。勉強の面でも、塾でだけで学習して、満足している人もいますが、同時に家庭での学習時間も確保してください。この時期をどう過ごすかで、来年の入試結果が大きく左右されます。これからは、時間を見つけて学習をするように心がけましょう。